

## 平成 26 年度事業報告

公益社団法人となり 3 年目を迎え「身近なところのかかりつけ医」として、地域精神保健・医療・福祉の充実と増進、さらには精神科診療所の資質の向上等にむけ引き続き取り組んでまいりました。従来 of 事業に加え、厚生労働省平成 26 年度医療機関と連携した精神障害者の就労支援モデル事業、また、世情に即した内容のアンケート調査、講演会を柔軟に行うことで、会員、医療関係者の知識向上に取り組み、さらなる地域精神保健医療福祉の発展と向上に取り組んでまいりました。

### 【 公 1 】 地域精神保健医療福祉の更なる向上を支援するための諸事業

#### 1. 診療所における地域精神保健医療福祉事業についての調査・研究

##### (1) 地域精神科医療を取り巻く諸問題の現況分析のためのアンケート調査事業

平成 25 年度に行った「平成 25 年度障害者総合福祉推進事業」の調査結果を踏まえ、さらに踏み込んだ分析をすることにより、臨床現場での治療・診断、また先端の医療情報など精神科医療に関する最新情報提供を行った。

A：地域福祉・デイケア委員会調査：精神科診療所デイケアの有効性調査・分析

「平成 25 年度障害者総合福祉推進事業」で行った「精神科診療所における地域生活支援の実態に関する全国調査」の結果をもとに、精神科診療所機能や地域支援機能、デイケアの現状、レスパイト利用者の現状について情報交換、意見交換を行い問題点の検討を行った。

B：認知症等高齢化対策委員会調査：重度認知症患者デイケア実態調査・分析

「平成 25 年度障害者総合福祉推進事業」で行った「精神科診療所における地域生活支援の実態に関する全国調査」の結果を委員会内で検討し分析を行った。

C：自殺対策プロジェクトチーム・埼玉県精神神経科診療所協会：

精神科診療所における自殺予防活動調査・分析

自殺対策プロジェクトチーム：平成 25 年度に行った地区協会アンケート結果をもとに 10 地区に協力を依頼した自殺対策調査研究の内容をさらに掘り下げ、自殺企図者への対策等自殺対策調査研究を引き続き行った。

埼玉県精神神経科診療所協会：埼玉県精神神経科診療所協会調査（通年）

埼玉精診を中心に会員からの自殺既遂例の実態調査と症例報告の受集計分析を行った。

D：児童青少年問題関連委員会：児童青少年の精神医療についての調査等

児童青少年の精神医療について、近年件数が増えてきた危険ドラッグの使用例を踏まえ情報交換と分析を行う。

##### (2) 地域精神保健医療福祉の向上を図るための全国診療所の現況のための調査事業

精神科診療所での実態調査を行うことで日精診としての精神科医療の在り方を研究し、今後の医療制度の問題点への指摘・提言できるデータを作成し、精神保健医療向上を目指す。

A：医療制度対策委員会：医療制度・精神科救急関係調査

精神科診療所からみた精神科医療のビジョンを考えるプロジェクトチーム：

平成 25 年度に行った外部講師との対談、精神科診療所調査及び訪問内容の分析をして報告書にまとめる作業を全 10 回の委員会において行った。

B：医療経済委員会：医療経済関係調査  
診療報酬改定に向けた調査、情報交換を行う。

(3) 精神科医療現場で活用できる患者支援サービスのためのシート・ソフト開発等の研究事業

A：「日精診版 社会史生活支援サービスシート・CD」開発研究と普及  
NSSサービス研究事業 全国研修会：（地域福祉・デイケア委員会）  
日精診版診断書ソフト開発・普及  
当協会独自の「日精診版 社会生活支援（NSS）サービスシート及びCD開発・普及を続け、現場医療職員への支援向上、患者への支援サービスにつなげてきた。また、今年度も全国研修会の開催や、日精診ジャーナルへの記事掲載により、シート・CDの普及にも貢献した。  
担当：地域福祉・デイケア委員会  
実施：委員会でのシート・CD研究・開発を行った。  
日程：開発：通年  
全国研修会：平成27年3月1日（日）10：00～16：30 AP品川 AB会議室  
参加者数：40名  
講師：佐々木昌弘（厚生労働省医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室長）  
テーマ：「地域包括ケアシステムにおける精神科医療～精神科診療所への期待～」  
成果・活用：研修会において実際にサービスシートを使用している医療・福祉関係者からのご意見を多く頂戴し、議論を通して改良につなげることができた。

2. 精神保健福祉及び精神科医療に関する正しい知識の普及及び相談事業

(1) 地域精神医療保健福祉の向上に関する講演会開催事業

認知症や統合失調症等に対する一般市民への正しい精神医学の啓発、及び自殺対策、うつ病予防などの精神医学的、社会的問題への寄与、障害者を抱えた家族への啓発を行った。

A：公開講座「どんとこい！認知症」  
担当：認知症等高齢化対策委員会  
実施：平成26年12月7日（日）13：00～17：00 北九州国際会議場メインホール  
参加者数：158名  
特別講演：  
「認知症はこわくない」  
講師：高橋幸男（エスポアール出雲クリニック 院長）  
シンポジウム  
シンポジスト：吉田朋子、松田直美、宋仁浩、岡本典雄、

B：公開講座「産業メンタルヘルス講演会」  
担当：産業メンタルヘルス関連委員会  
実施：平成26年9月28日（日）13：00～16：30 新宿明治安田生命ホール  
参加者数：207名  
特別講演：「職場と主治医の連携効果を左右する要因とは」  
講師：廣 尚典 先生（産業医科大学産業生態科学研究所精神保健学教授）  
シンポジウム・総合討論  
シンポジスト：森口次郎、菅裕彦、高野知樹、五十嵐良雄、中嶋義文、大西守

コメンテーター：黒木宣夫

C：公開講座「みんなでかたろう！女性のメンタルヘルス」

担当：女性の精神科医療を考える委員会

実施：平成 27 年 1 月 18 日（日）13：00～16：30 新宿明治安田生命ホール

参加者数：143 名

特別講演：「女性のエンパワーメントに必要なこと」

講師：水島広子（対人療法関係クリニック院長）

シンポジウム：田中理香、海老澤佐知江、早苗麻子、望月美知子（コーディネーター）

D：公開講座「自殺対策講演会」（自殺対策プロジェクトチーム）

担当：自殺対策プロジェクトチーム

実施：平成 27 年 2 月 22 日（日）13：30～17：00 新宿明治安田生命ホール

参加者数：203 名

シンポジウム・総合討論

シンポジスト：三宅康史、関川浩司、羽藤邦利、恵智彦、里村 淳

(2) 各地区で展開されている講演会・相談会事業に対する助成事業

各県精神神経科診療所協会等で開催されている一般市民対象の講演会事業への助成を行った。

A：各県協会等開催講演会事業助成

1. 講演会相談会「宮精診メンタルヘルス講演会」3回（26.5.17、26.11.8、27.3.7）宮城精診共催
2. 講演会相談会「第8回宮城産業メンタルヘルス講演会」（26.9.27）宮城精診共催
3. 講演会相談会「認知症フォーラム・いわき」（26.10.5）福島精診共催
4. 講演会「こころの健康講座～希望の架け橋笑顔でつなぐパートナーシップ～」(27.3.1) 群馬精診共催
5. 講演会「働く人のメンタルヘルス part3～ストレスチェックの実際と問題点」（26.11.30）埼玉精診共催
6. 講演会相談会「第8回こころと福祉の相談会&講演会」（26.10.19、26.11.24）神奈川精診共催
7. 講演会「大人の発達凸凹：その理解と援助」（27.2.1）愛知精診共催
8. 講演会「社会神経科学と精神科臨床～脳機能画像研究の発展」（26.7.5）滋賀精診共催
9. 講演会「認知症の最新の脳画像診断-早期発見と根本治療を視野に入れて-」（26.12.20）滋賀精診共催
10. 講演会「市民講演会」（26.10.2、26.10.9、26.10.23、26.11.1、26.12.1、  
26.12.10、27.1.21、27.2.4、27.3.3、）大阪精診共催
11. 講演会「産業精神保健講演会」（27.3.18）大阪精診共催
12. 講演会「ハートフェスタ～心と心のふれあい広場～」(26.11.3) 兵庫精診（後援）
13. 講演会と相談会「大人の発達障害」（27.2.22）福岡精診共催
14. 講演会「アルコールと健康問題」（26.5.11）宮崎精診共催

(3) 地域の精神保健医療福祉の向上を図る精神保健無料相談及び電話相談への助成事業

各県精神神経科診療所協会等で開催されている一般市民対象の無料相談・電話相談事業への助成を行った。

A：精神保健無料相談・電話相談

1. 専門医によるこころの健康なんでも相談（26.6.29、26.9.7）大阪精診共催
2. 第20回こころの健康よろず相談（26.10.26）広島精診共催
3. 専門科医によるこころの電話相談（26.4.1～27.3.31）東京精診共催

(4) 一般市民向けに精神科医療情報パンフレット作成事業

精神保健医療福祉分野における最新の情報・知識の普及、精神科医療を身近にすることを目的として発行した。

A：医療情報マップ発行（各県精神神経科診療所協会）

各県精神神経科診療所協会において地域のメンタルクリニックマップ、日精診会員診療所マップの作成を行った。

### (5) 精神保健医療に関する情報提供のための啓発冊子（ブックレット）発行事業

一般市民を対象に精神保健医療に関する情報を提供することにより、精神医療保健福祉分野における正しい知識や地域の精神保健、医療、福祉に関する情報の普及啓発を行った。

A：ブックレット発行（会誌編集委員会）

特集：「精神障害のある人の雇用・就業支援」

執筆（松為信雄：文教学院大学人間学部人間福祉学科教授）

発行部数：40000部発行

配布先：会員診療所、各地区協会、精神保健福祉センター、保健所等

## 3. 精神保健医療福祉に関する教育研修及び広報事業

### (1) 地域精神医療保健福祉の向上を目的とした研修会開催事業（医療及び精神保健福祉関係機関従事者対象）

精神科医として精神疾患の診断・治療技術の向上、及び地域社会における活動の方法、地域精神保健医療福祉への貢献の在り方などについて事例・症例研究会・検討会を行い、国民の精神保健の向上を図った。

A：事例検討会（各県精神神経科診療所協会）

1. 講演会「児童検討会」（26.5.22、26.8.21、26.11.27、27.2.26） 埼玉精診共催
2. 講演会「ウィーン医学散歩-ヤウレックとフロイト」（26.6.7）山梨精診共催
3. 講演会「地域で患者さんを支えることを考える」（27.3.28）静岡精診共催
4. 講演会「認知特性から自閉症スペクトラムを理解する-適切な支援のために」（27.1.15）滋賀精診共催
5. 講演会「～「つなぐ」支援をみんなで考える～」（26.11.29）大阪精診共催
6. 講演会「第15回思春期症例検討会」（26.4.5）広島精診共催

B：研修会：第20回学術研究会（茨城県精神神経科診療所協会共催）

実施：平成26年6月14日（土）～15日（日） つくば国際会議場

参加者数：292名

テーマ：「生きられる時間 包摂と排除のオルタナティブ」

特別講演、メインシンポジウム、分科会等

C：関連機関共催による講演会・研修会事業

・日医共催事業（女性の精神科医療を考える委員会）

日医共催事業「平成26年度 医学生・研修医等をサポートするための会」

担当：女性の精神科医療を考える委員会

実施：平成26年12月7日（日）11:00～14:00 京王プラザホテル コメット

参加者数：17名

基調講演：

①「精神科医のリフレッシュ partⅡ～ニキ・ド・サンファル”タロットガーデン”～」

講師：海老澤佐知江（アルバ・メンタルクリニック院長）

②「依存症～危険ドラッグ・ギャンブル依存等について～」

講師：伊波真理雄（雷門メンタルクリニック院長）

D：チーム医療・地域リハビリテーション研修会：愛知（地域福祉・デイケア委員会）

第15回チーム医療・地域リハビリテーション研修会：愛知

担当：愛知精神神経科診療所協会

実施：平成26年11月2日（日） 桜華会館

参加者数：302名

テーマ：「おいでん愛知いりゃあせ名古屋！ここから考える明日の精神医療を！！」

特別講演、震災報告、シンポジウム、分科会、等

E：司法精神医学講演会

第7回司法精神医学講演会

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成27年2月8日（日） 13：00～15：30 AP品川J+K会議室

参加者数：36名

講演：「裁判所における医療観察制度の運用等について」

講師：芦澤政治（東京地方裁判所 部総括判事）

医療観察法勉強会

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成26年10月12日（日） 10：00～12：30 AP品川 PQ会議室

参加者数：8名

講演：「触法精神障がい者の治療・処遇の枠組み～医療観察法、精神保健福祉法、刑事収容施設法、そして…」

講師：黒田治（東京都立松沢病院精神科部長）

医療観察指定通院医療機関連絡会議・勉強会（医療観察法等検討委員会）

担当：医療観察法等検討委員会

実施：平成26年11月2日（日） 9：00～9：45 桜華会館

参加者：4名

(2) インターネットを介した精神保健医療に関する知識の普及啓発と心身の健全な育成を図る事業

インターネットを介し、国民へ正しい精神保健医療福祉に関する最新情報の提供を行う。また、地域における精神科医療機関に関する情報提供を行うことで、地域連携の役割を担う。

A：ホームページ運営事業（情報システム委員会）

講演会事業等をHPにアップし、一般市民、医療関係者への情報発信として、情報提供の場となる。

(3) 精神保健医療に関する情報提供のための学術・情報誌発行事業

精神医療保健福祉分野における最新の研究報告・学術情報・知識の普及、及び地域医療を担う精神科医療関係者の資質向上を目的として、年6回学術・情報誌、学術研究会報告集および、研修会特集号をした。

①協会誌「ジャーナル」及び「チーム医療地域リハビリテーション研修会報告集」発行（会誌編集委員会）

担当：会誌編集委員会

ジャーナル：210号（26.5.31）～215号（26.3.31）年間6巻発行

各号1800部～1870部

チーム医療地域リハビリテーション研修会（愛知大会号）報告集：26.3 1870部

②「学術研究会」報告集発行（茨城県神神経科診療所協会共催）

学術研究会（茨城大会号）報告集：26.3 2150部

#### 4. 精神保健医療福祉に関する調査研究に対する助成事業

地域精神保健医療福祉の進歩に寄与すると思われる個人または団体による調査、研究、出版事業などに助成をした。

田中健記念研究助成事業：田中健記念研究事業積立金を財源に、年間総額300万円の範囲内で資金を供与し、対象内容の対象者の数に応じて分配。（平成25年度助成総額2,070,000円）

①精神障害者の就労支援のための評価方法の開発～アピアランススケール～

②就労継続がうまくいかなかった事例の研究

③統合失調症患者の生活実態に基づいたメタボリックシンドローム予防と改善指導プログラムの開発

④「希死念慮を伴ううつ状態」のリスク要因に関する研究

⑤福島の震災トラウマに関する研究

⑥精神科診療所における気分障害・不安障害で失職した患者に対する再就労支援に関する研究

⑦自傷行為危険性評価尺度開発とその標準化に関する研究就労支援がうまくいかなかった事例の研究

以上、7件

\*平成26年度学術研究会にて研究発表後、9月発行予定のジャーナルに論文掲載。

#### 5. 災害時における精神保健医療福祉に関する支援事業

(1) 被災者、精神科医療機関、保健所等への支援を行いながら、継続支援が必要な人を地域精神保健医療福祉につなげる事業であり、震災支援者のための援助事業を引き続き行っていく。また、全国会議を開催し、被災地及び各地の情報交換を行うと同時に日精診としての支援方法を検討し、具体的な支援プログラムの作成、被災者、診療所等への支援について検討を行った。

A：震災支援マニュアル作成

担当：地域福祉・デイケア委員会

「日精診 災害対策マニュアル」第二版の検討を引き続き行った。

B：被災地域・被災者支援活動（全国会議及び支援）

年1回開催し、全国各地区での災害に対する取り組みなどを検討し震災に備える。

開催：平成26年10月19日（日）11:00～17:00 AP品川J K L会議室

参加者数：45名

議題：日精診災害支援対策本部から経過報告と今後の支援

地区協会での災害時の取り組みについての報告

現地報告等：広島土砂災害における活動報告、石巻支援についての報告

C：地域精神科医療機関の業務支援

全国会議において、各地域ごとの現状やニーズなどの情報交換を行い、地域の現状に即した業務支援について検討を行った。

(2) 災害によりトラウマを受けた子供たちの心のケア及び親、教師への支援を継続的に行う事業

A：子供たちの心のケアのためのチラシ・冊子を配布し普及  
トラウマを受けた子どもの心のケアに関するパンフレットの講演会での配布を行う。

B：児童・青少年の心のケアのための講演会  
公開講座「第5回子どものこころの健康を考えるシンポジウム」  
担当：児童青少年問題関連委員会  
実施：平成27年1月25日（日）13：00～16：30 新宿明治安田生命ホール  
参加者数：178名  
シンポジウム・ディスカッション  
シンポジスト：市川宏伸、飯田順三、山口純枝

【他1】地域精神保健医療福祉関連機関に対する協力事業

(1) 地域精神保健医療福祉活動の向上を図るため、他の精神科医療機関、各種職能団体、社会復帰施設及び関連団体、精神保健福祉センター及び保健所、精神障害者社会復帰センターなどの諸団体、国、都道府県、市町村など関係行政機関との協力、援助を図る。

A：厚生労働省、行政、日本精神科七者懇談会、日本臨床分科医会代表者会議、精神保健福祉連盟、等での情報交換、及び事業協力を行う。

【他2】会誌発行など会員への情報伝達を中心とした事業

(1) 会員間での精神科医療に対する啓発、会員名簿作成により全国の会員の診療所情報提供を行うことで、地域連携に結びつく事業を引き続き行った。

A：会員・各委員会メーリングリスト

担当：情報システム委員会

メーリングリスト開設状況：21件

①会員ML、

②各委員会ML

(地域福祉ダイケア、児童青少年問題関連、産業メンタルヘルス、女性の精神科医療を考える、医療制度対策、医療経済、医療経済・政策合同、会誌編集、情報システム、学術班、)

③理事会ML、

④地区会長会ML、

⑤精神科診療所からみた精神科医療のビジョンを考えるプロジェクト委員会ML

⑥NSSプロジェクトチームML（4件）

⑦会員支援対策委員会ML

⑧自殺対策プロジェクト委員会ML

⑨障害者就労支援サポートプロジェクトML

B：会員名簿発行（診療所情報提供のための冊子）

担当：会員基礎調査委員会

会員名簿発行に向けて日精診会員への名簿記載内容の確認を行い、記載内容等の検討を行った。

C：MEDIFAX等情報発信（医療経済委員会）

担当：医療経済委員会

MEDIFAX情報提供を行い日精診の活動につなげる。

(2) 機関紙、FAXニュース等の発行により、会員への情報伝達を中心として行い、最新

の医療情報を発信し会員の知識向上に貢献していく事業。

A：会員向け情報「FAXニュース」発行

担当：会長、副会長、事務局長

発行：FAXニュース 114号～120号 7回発行、全会員への情報提供：5回発行

B：会員向け情報「議事録誌」発行

担当：会誌編集委員会

発行：210号（26.5.31）～215号（27.3.31）年間6回理事会議事録 HP掲載会員向け